

令和7年度 第4回四街道市ごみ処理対策委員会 会議次第

日時：令和7年11月26日（水） 14時から

場所：四街道市企業庁舎 第1・2・3会議室

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 答申

四街道市一般廃棄物処理基本計画について

4. 議事

- (1) 四街道市一般廃棄物処理基本計画 令和6年度年次報告書（案）について
- (2) 次期ごみ処理施設整備事業について
- (3) その他

5. 閉会

四街道市一般廃棄物処理基本計画（令和 8 年度～令和 17 年度）（案）
修正箇所一覧

頁	該当箇所	修正前	修正後
P4	図 1. 5. 1 本計画の適用範囲	図が前計画のものに変更されていた	従前の図に修正
P10	(3) 高齢者人口の推移	令和 2 年度以降は微減傾向にあります。	令和 2 年度をピークに微減傾向となっています。
P26	(4) 資源化量及びリサイクル率	リサイクル率は令和 5 年度で上昇しましたが、令和 6 年度では微減となり、19. 7%～20. 7%で推移しています。	削除
P26	(4) 資源化量及びリサイクル率	令和 5 年度から焼却灰の一部の溶融処理を開始した一方で～	令和 5 年度から、焼却灰の一部について、溶融処理による資源化を開始した一方で～
P34	① 1 人 1 日当たり総排出量 ② 1 人 1 日当たり家庭系ごみ排出量	令和 4 年度までは前計画の目標値より排出量が多かったものの、	削除
P39	エコショップよつかいどう認定制度	—	イラストを店頭回収の写真に変更、エコショップよつかいどうの取組み例を追記
P46	資源化についての取組み 課題 2 行目	雑がみについて、組成分析の結果では令和 6 年度においては 50% が可燃ごみに混在していることから、資源物として排出するよう更なる周知徹底が必要となっています。	令和 6 年度の組成分析の結果、雑がみが可燃ごみの中に約 50% 混在していることから、資源物として排出するよう、さらなる周知徹底が必要となります。
P53 P59	施策 5. 3 の施策名	循環型社会推進のためのごみ処理システムの構築	循環型社会形成推進のためのごみ処理システムの構築
P64	3) 環境学習の推進	イラスト	実際の授業時の写真
P66	3) 食品ロス削減施策の浸透の課題	周知が限定的であること等、市全体への削減効果にはつながりにくい状況にあることが考えられます。	全市的な削減には至っていないことが考えられます。
P67	イラスト部	—	イラストの変更
P71	施策 2. 1 フードドライブの実施	—	フードドライブの写真追加
P71	食べきり協力店制度	—	写真を解像度の高いものへ変更
P77	イラスト部	イラスト	コラム「生活排水について」に変更
P87	図 5. 1. 10 生活排水処理率の実績と目標比較	グラフが図 5. 1. 9 し尿汲み取り人口の達成状況と同じグラフ	正しいグラフに修正（別紙参照）
P87	イラスト部	—	イラストの変更

四街道市一般廃棄物処理基本計画
令和6年度 年次報告書
(案)



令和7年 月
四街道市環境部廃棄物対策課

はじめに

本市は、平成 28 年 8 月に、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間を計画期間とした「四街道市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。計画策定より 5 年が経過した令和 3 年度には社会状況の変化などを踏まえ、計画策定時に定めた数値目標の見直しや、ごみの減量化及び資源化に関する新たな取組を追加するなどした「四街道市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）」を策定し、計画的な一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理事業を実施するとともに、廃棄物の減量化及び資源化に努めてまいりました。

この報告書は、「四街道市一般廃棄物処理基本計画」の進行管理として、令和 6 年度における各種施策の取組状況を評価し、その結果を取りまとめたものです。

目 次

第1章 点検・評価について

1 計画の概要	1
2 点検・評価の方法	2

第2章 施策の実施状況について（ごみ処理基本計画基本計画）

基本方針1 2Rを意識した3Rの推進	3
1-1 発生抑制・再利用・資源化の推進	3
1-2 3R推進のためのしくみづくり	6
基本方針2 市民・事業者・行政の協働	9
2-1 市民の取組	9
2-2 事業者の取組	11
2-3 行政の取組	12
基本方針3 適正処理の構築	14
3-1 収集・運搬の検討	14
3-2 中間処理施設の整備	15
3-3 最終処分の検討	17
3-4 適正な事業経営の推進	17

第3章 施策の実施状況について（生活排水処理基本計画）

基本方針1 生活排水処理の推進	18
1-1 公共下水道の普及	18
1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及	18
基本方針2 市民・事業者・行政の協働	20
2-1 市民の取組	20
2-2 事業者の取組	21
2-3 行政の取組	22

基本方針 3 適正維持管理の推進	24
3-1 適正な収集・運搬体制の維持	24
3-2 中間処理施設の適正管理	24
第4章 指標の進捗状況について	26
第5章 まとめ	35

第1章 点検・評価について

1 計画の概要

「四街道市一般廃棄物処理基本計画」では、一般廃棄物処理のカテゴリを「ごみ処理基本計画」と「生活排水処理基本計画」の2項目に分類し、以下のとおり、それぞれの基本理念・基本方針及び具体的な施策を定めています。

●ごみ処理基本計画

基本理念	
循環型社会形成推進に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、 環境にやさしいまちの実現へ ～てる、でも減らす ごみ10%削減に挑戦～	
基本方針	中心となる施策
1 2Rを意識した3Rの推進	1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進 1-2 3R推進のためのしくみづくり
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組 2-2 事業者の取組 2-3 行政の取組
3 適正処理の構築	3-1 収集・運搬の検討 3-2 中間処理施設の整備 3-3 最終処分の検討 3-4 適正な事業経営の推進

●生活排水処理基本計画

基本理念	
水環境の保全に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、 環境にやさしいまちの実現へ ～生活排水処理率100%に挑戦～	
基本方針	中心となる施策
1 生活排水処理の推進	1-1 公共下水道の普及 1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組 2-2 事業者の取組 2-3 行政の取組
3 適正維持管理の推進	3-1 適正な収集・運搬体制の維持 3-2 中間処理施設の適正管理

2 評価の方法

各種施策の具体的な取組の実施状況について、個別評価と総合評価を下記のとおり評価しました。

◆施策の実施状況について

【個別評価】

◎	実施している
○	実施している（改善の余地あり）
△	実施に向けて準備中
□	調査検討中または未実施

【総合評価】

個別評価を下記のとおり点数化し、点数合計の平均値を総合評価としました。

個別評価	点数
◎	4
○	3
△	2
□	1

総合評価	平均点数	評価内容
◎	3.5～4.0	非常に評価できる
○	2.6～3.4	評価できる
△	1.5～2.5	さらなる改善が必要
□	1.0～1.4	実施できていない

◆数値目標について

計画に掲げた数値目標について、下記のとおり評価しました。

◎	数値目標に達している
○	数値目標に達していないが、前年度より目標年度の数値に近づいている
△	数値目標に達しておらず、横ばいである
□	数値目標に達しておらず、前年度より数値が目標年度から遠ざかっている

第2章 施策の実施状況について（ごみ処理基本計画）

基本方針1 2Rを意識した3Rの推進

【1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進】

(1) 3Rに関する意識啓発活動の推進（計画書 P62）

施策内容		① 3R意識の向上のための広報活動の実施		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1) 市政だよりや市HP等において3Rの取組を啓発	●市政だよりに3Rの取組などを紹介する「クルちゃんのごみの話」を掲載 ・掲載回数：5回（令和5年度6回）	◎	◎	(4)	

(2) 発生抑制・再使用の更なる推進（計画書 P62）重点項目

施策内容		① 発生抑制・再使用の推進に繋がる意識啓発の実施		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1) リサイクルショップ・フリーマーケット活用の奨め （不要品の出品、再使用目的品の購買による再使用の推進）	●市HP等でフリマアプリの活用についての啓発を実施 ●リサイクルショップの利用促進に向けて、新たに民間企業との連携を検討	◎	◎	(4)	
2) リユース品交換制度活用の奨め （不要品の提供、利用による再使用の推進）	●市HPにリユース品情報コーナーの紹介記事を掲載 ●市HP、廃棄物対策課窓口及び市役所1階リサイクルコーナーにリユース品情報を掲示 実績（成立件数／登録件数） ・ゆずります：9件/29件（令和5年度：15件/72件） ・ゆずってください：3件/17件（令和5年度：2件/7件）	◎			
3) 食品ロス削減に係る意識啓発の実施	●市HP及び市政だより食べきり協力店の募集記事を掲載 ・食べきり協力店登録店舗数：22店舗（令和5年度：24店舗） ●市産業まつりで市内大学と連携し、規格外野菜等を活用した「食材使いきり料理」の紹介及び販売（マフィン等398個）（令和5年度：市産業まつりで市内大学と連携し、規格外野菜等を活用した「食材使いきり料理」の紹介及び販売（マフィン等345個）） ●市HP等に「食材使いきりレシピ」の紹介及び募集記事を掲載 ・レシピ紹介数：21件（令和5年度：19件）	◎			

4) 生ごみリサイクルの意識啓発の実施	●生ごみ処理容器・発酵資材を市民に無料配布 ・配布人数：38人（うち、講習会参加者23人） （令和5年度配布人数：54人　うち、講習会参加者40人） ●生ごみの減量を目的とした「ごみを減らそう講習会」を開催 ・開催回数：2回（参加人数37名） （令和5年度：開催回数2回、参加人数43名） ●生ごみ堆肥化方法を市公式YouTubeで紹介	◎	
---------------------	--	---	--

施策内容	②発生抑制・再使用の推進のための制度の継続、充実、導入	＜廃棄物対策課＞
------	-----------------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 家庭系ごみ処理手数料制度の導入	●令和2年9月に家庭系ごみ処理手数料制度を導入 ・家庭系ごみ排出量：16,911t（令和5年度17,318t） - 前年度比　△407t（約2.4%減）	◎	○ (3.3)
2) リユース品交換制度の継続、更なる充実	●（再掲(2)-①）市HPにリユース品情報コーナーの紹介記事を掲載 ●（再掲(2)-①）市HP、廃棄物対策課窓口及び市役所1階リサイクルコーナーにリユース品情報を掲示 実績（成立件数／登録件数） ・ゆずります　　：9件/29件（令和5年度：15件/72件） ・ゆずってください：3件/17件（令和5年度：2件/7件）	◎	
3) 良質な粗大ごみの補修・販売制度	●他自治体で開設しているリサイクルプラザを参考にするなど、次期ごみ処理施設と一体で検討 （今後の対応）本市で実施する場合の問題点や他市の事例等を調査・検討	□	
4) フードドライブの実施	●市及びイトーヨーカドー四街道店でフードドライブを実施し、回収した食品を社会福祉協議会に寄付 ・寄付した食品数：8,617点（令和5年度：7,691点）	◎	

(3)資源化の推進（計画書 P62）

施策内容	①資源化の推進に繋がる意識啓発の実施	＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞
------	--------------------	-------------------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 集団回収への協力要 請	●市ＨＰ及び市政だよりに実施団体の募集記事を掲載 ・集団回収事業実施団体数：54 団体（令和５年度：59 団体） ・回収量：626 t（令和５年度 671 t） ・実施団体への補助金額：3, 153, 265 円 （令和５年度：3, 376, 370 円） ・資源組合への補助金額：3, 065, 075 円 （令和５年度：3, 272, 980 円）	◎	◎ (4)
2) 雑がみ分別の広報等	●市ＨＰ及び市政だよりに啓発記事を掲載 ・雑がみ排出量：378. 60 t（令和５年度：391. 08 t） - 前年度比：△12. 48 t（3. 19%減）	◎	
3) プラスチック・ビニ ール類の更なる減量 化、再資源化への取 組	●使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を市内公共施設 2 か所 で実施 ・回収量：73. 39 kg（令和５年度：58. 5 kg） ●令和 6 年 10 月より「不燃ごみ」として回収していた製品プラスチ ックの一部を「プラスチック・ビニール類」として収集を開始 （令和５年度：「不燃ごみ」として回収していた製品プラスチックの 一部を「プラスチック・ビニール類」として収集することを決定） ●市役所 1 階リサイクルコーナーでペットボトルキャップの回収を実 施 ・回収量：1, 298 kg（令和５年度：1, 060 kg） ※回収実績は社会福祉協議会と市役所の合計です。	◎	
4) 小型家電の拠点回収	●市内公共施設 10 か所で小型家電の拠点回収を実施 ・回収量：1. 14 t（令和５年度：1. 29 t）	◎	

【1-2 3R推進のためのしくみづくり】

(4)発生抑制・再使用のための側面支援（計画書 P63）**重点項目**

施策内容	①市民・事業者の発生抑制のための自発的活動の側面支援 （市民団体の生ごみ堆肥化事業、情報提供支援、生ごみ処理容器・発酵資材の提供） ＜廃棄物対策課＞		
------	--	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 自発的活動を促進するための情報提供	●（再掲(2)-①）生ごみの減量を目的とした「ごみを減らそう講習会」を開催 ・開催回数：2回（参加人数：37名） （令和5年度：開催回数2回、参加人数43名） ●（再掲(2)-①）生ごみ堆肥化方法を市公式YouTubeで紹介	◎	◎ (4)
2) 生ごみ処理容器・発酵資材を配布	●（再掲(2)-①）生ごみ処理容器・発酵資材を市民に無料配布 ・配布人数：38人（うち、講習会参加者23人） （令和5年度：54人　うち、講習会参加者40人）	◎	

施策内容	②エコショップ制度の側面支援 ＜廃棄物対策課＞		
------	--	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行う小売店を「エコショップ」として認定、市HPで紹介	●市HPに認定店の紹介及び募集記事を掲載 ・認定店舗数：5店舗（令和5年度：6店舗）	○	○ (3)

施策内容	③事業系ごみの分別の徹底及び資源物の自己処理の要請 ＜クリーンセンター＞		
------	---	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 事業系ごみの展開検査を実施し、搬入物について届出内容と相違がないか確認し、不適正な搬入に対して分別指導を実施	●許可事業者（22事業者）のうち、無作為に抽出した事業者に対して展開検査及び分別指導を実施 - 展開検査数／指導件数：13件／13件 （令和5年度：13件／13件）	○	○ (3)

施策内容	④家庭系ごみの処理手数料制度の導入	＜廃棄物対策課＞	
------	-------------------	----------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 家庭系ごみの排出を抑えるため、処理手数料制度を導入	●（再掲(2)-②）令和2年9月に家庭系ごみ処理手数料制度を導入 ・家庭系ごみ排出量：16,911 t（令和5年度：17,318 t） - 前年度比 △407 t（2.4%減）	◎	◎ (4)

施策内容	⑤拡大生産者責任の明確化	＜廃棄物対策課＞	
------	--------------	----------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 事業者の責任及び負担の明確化等について、拡大生産者責任の強化を国に要望	●本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、国に対して要望を実施	◎	◎ (4)

施策内容	⑥リユース品の交換制度の充実	＜廃棄物対策課＞	
------	----------------	----------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 市HPを通じた広報	●（再掲(2)-①）市HPにリユース品情報コーナーの紹介記事を掲載 ●（再掲(2)-①）市HP、廃棄物対策課窓口及び市役所1階リサイクルコーナーにリユース品情報を掲示 実績（成立件数／登録件数） ・ゆずります：9件／29件（令和5年度：15件／72件） ・ゆずってください：3件／17件（令和5年度：2件／7件）	◎	◎ (4)

施策内容	⑦食べきり協力店制度の側面支援	＜廃棄物対策課＞	
------	-----------------	----------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い「食べ残しゼロ」を啓発	●（再掲(2)-①）市HPに食べきり協力店の募集記事を掲載 ・食べきり協力店登録店舗数：22店舗（令和5年度：24店舗）	○	○ (3)

施策内容	⑧雑がみ分別の支援	＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞
------	-----------	-------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 雑がみを分別し排出することを周知	●（再掲(3)-①）市ＨＰ及び市政だよりに啓発記事を掲載 ・ 雑がみ排出量：378.60 t（令和５年度 391.08 t） 前年度比：△12.48 t（3.19%減）	◎	◎ (4)
2) 雑がみの回収方法の検討	●雑がみ回収用の網袋をごみ集積所に設置し、回収を実施 （令和５年度：雑がみ回収用の網袋による収集を開始）	◎	

(5) 資源化のための側面支援

施策内容	①広報手法や広報媒体の充実	＜クリーンセンター、廃棄物対策課＞
------	---------------	-------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」の配信	●スマートフォンやタブレット端末から分別方法等を確認することができるアプリ「さんあ〜る」を配信 ・ 登録件数：7,005 件（令和５年度：5,948 件）	◎	◎ (4)
2) 「さんあ〜る」WEB版の配信	●市ＨＰにて「さんあ〜る」WEB版を配信	◎	
3) 「さんあ〜る」外国語版の配信	●「さんあ〜る」の外国語版（英語、中国語、韓国語、ペルシャ語）を配信 ・ 登録件数：215 件（令和５年度：172 件）	◎	

施策内容	②使用済みインクカートリッジの回収	＜廃棄物対策課＞
------	-------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市役所に使用済みインクカートリッジ回収箱を設置	●市役所１階リサイクルコーナーで使用済みインクカートリッジを回収 ・ 回収量：2,450 個（74 kg） （令和５年度：4,069 個 122 kg）	◎	◎ (4)

施策内容	③廃乾電池の拠点回収の試行実施	＜廃棄物対策課＞
------	-----------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市役所にて廃乾電池を回収	●市役所１階リサイクルコーナーで廃乾電池を回収	◎	◎ (4)

基本方針 2 市民・事業者・行政の協働

【2-1 市民の取組】

(6) 循環型社会を構築するためのライフスタイルの転換（計画書 P64）

施策内容 ①もったいない意識を常に心がける		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 3 キリ（食材の使いきり、食べきり、水きり）についての広報	●（再掲(2)-①）市産業まつりで市内大学と連携し、規格外の野菜等を活用した「食材使いきり料理」の紹介及び販売（マフィン等 398 個） （令和 5 年度：市産業まつりで市内大学と連携し、規格外の野菜等を活用した「食材使いきり料理」の紹介及び販売（マフィン等 345 個）） ●（再掲(2)-①）市 H P 等に食材使いきりレシピの紹介及び募集記事を掲載 ・ レシピ紹介数：21 件（令和 5 年度：19 件） ●（再掲(2)-①）市 H P に食べきり協力店の募集記事を掲載 ・ 食べきり協力店登録店舗数：22 店舗（令和 5 年度：24 店舗）	◎	◎ (4)
2) フードドライブの実施	●（再掲(2)-②）市及びイトーヨーカドー四街道店でフードドライブを実施し、回収した食品を社会福祉協議会に寄付 ・ 食品数：8,617 点（令和 5 年度：7,691 点）	◎	

施策内容 ②ごみの減量化、資源化等環境問題に関心を持つ		＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 生涯学習まちづくり出前講座を活用したごみ減量化・資源化等に関する講座、見学会等の実施	●生涯学習まちづくり出前講座の設定 ・「ごみの減量とリサイクル講座」実施回数：0 回 ※希望者なしのため実績なし （令和 5 年度：0 回 ※希望者なしのため実績なし） ●クリーンセンター見学会実施回数：10 回 （参加人数：小学校 10 校、762 人） （令和 5 年度：12 回（参加人数：小学校 12 校、895 人））	◎	◎ (4)
2) 小中学生を対象とした「ごみの減量と分別講座」の実施	●「ごみの減量と分別講座」の開催 ・ 授業の実施回数：4 回 ・ 参加人数：旭 小 学 校 4 学 年 1 クラス 計 23 人 大日小学校 4 学 年 3 クラス 計 84 人 （令和 5 年度：3 回、大日小学校 4 学 年 3 クラス 計 87 人）	◎	

施策内容	③市民団体の生ごみ堆肥化事業等への参加	＜廃棄物対策課＞	
------	---------------------	----------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 生ごみの堆肥化に関心を持ってもらうため、講習会の開催及び生ごみ処理容器・発酵資材を配布	●（再掲(2)-①）生ごみの減量を目的とした「ごみを減らそう講習会」を開催 ・開催回数：2回（参加人数：37名） （令和5年度：2回（参加人数：43名）） ●（再掲(2)-①）生ごみ処理容器・発酵資材を市民に無料配布 ・配布人数：38人（うち、講習会参加者：23人） （令和5年度：54人（うち、講習会参加者40人）） ●（再掲(2)-①）生ごみの堆肥化方法を市公式YouTubeで紹介	◎	◎ (4)

(7) 分別排出への協力（計画書 P64）

施策内容	①分別を徹底し、異物混入を防止	＜クリーンセンター＞	
------	-----------------	------------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 分別が不十分な集積所の排出ごみについて、違反シールを貼付し、分別徹底を促す	●不適正に排出されたごみ袋に、適正な排出を促すため、違反シールを貼付 ・シール貼付枚数：約 31,000 枚 （令和5年度：約 21,000 枚）	◎	◎ (4)

施策内容	②雑がみを資源化するための分別の徹底	＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞	
------	--------------------	-------------------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 雑がみを分別し排出することを周知	●（再掲(3)-①）市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載 ・雑がみ排出量：378.60 t（令和5年度：391.08 t） - 前年度比：△12.48 t（3.19%減）	◎	◎ (4)
2) 雑がみの回収方法の検討	●（再掲(4)-⑧）雑がみ回収用の網袋を集積所に設置し回収を実施（令和5年度：雑がみ回収用網袋による収集を開始）	◎	

(8) 不法投棄防止への協力（計画書 P64）

施策内容	①不法投棄防止の視点での監視、通報の協力 ＜環境政策課、廃棄物対策課、クリーンセンター＞
------	---

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 不法投棄禁止看板の設置	●市民からの要望などに応じ、不法投棄禁止看板を設置 ・不法投棄禁止看板設置・設置本数：51 本 （令和 5 年度：32 本） ・不法投棄禁止ラミネート配布枚数：102 枚 （令和 5 年度：68 枚）	◎	◎ (4)
2) 不法投棄のパトロール	●不法投棄等の監視を目的とする環境パトロールを実施 ・実施頻度：週 5 日程度（令和 5 年度：週 5 日程度）	◎	
3) 市民や自治会、他部署からの通報を受け ての現地確認	●市民や自治会などから通報を受け、現地確認及び不法投棄の撤去等 を実施 ・対応件数：57 件（令和 5 年度：92 件）	◎	

【2-2 事業者の取組】

(9) 自己処理の原則に基づくごみ排出量減量化への協力（計画書 P64）

施策内容	①ごみの減量化、資源化計画の策定及び実施 ＜クリーンセンター＞
------	------------------------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 多量排出者に該当する者等がいた場合における減量化、資源化計画の策定及び提出の指示	●四街道市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第 5 条に規定する多量排出者に対しての指導 ・令和 6 年度：該当無し （令和 5 年度：該当無し）	◎	◎ (4)

(10) 拡大生産者責任による製品の製造・販売への配慮（計画書 P64）

施策内容	①不要となった製品の環境負荷に及ぼす影響が最小となる再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性を配慮して製品の製造・販売 ＜廃棄物対策課＞
------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 事業者の責任及び負担の明確化等について、拡大生産者責任の強化を国に要望	●（再掲(4)-(5)）本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、国に対して要望を実施	◎	◎ (4)

(11)環境保全・資源保全に関する取組の公表

施策内容		①環境保全・資源保全に関する取組の公表		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行う店を「エコショップ」として認定、市ＨＰで紹介	●（再掲(4)-②）市ＨＰに認定店の紹介及び募集記事を掲載 ・認定店舗数：5店舗（令和5年度：6店舗）	○	○ (3)		
2)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べきりゼロ」を啓発	●（再掲(2)-①）市ＨＰ及び市政だよりに食べきり協力店の募集記事を掲載 ・登録店舗数：22店舗（令和5年度：24店舗）	○			

【2－3 行政の取組】

(12)本計画の基本理念及び基本方針の周知（計画書 P64）

施策内容		①ごみ処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者にも周知と行政の積極的行動		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)基本理念及び基本方針を市ＨＰで紹介	●市ＨＰに四街道市一般廃棄物処理基本計画を公表 ●市ＨＰに四街道市一般廃棄物処理基本計画令和5年度年次報告書を公表	◎	◎ (4)		

施策内容		②拡大生産者責任の働きかけを行う		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)事業者の責任及び負担の明確化等について拡大生産者責任の強化を国に要望	●（再掲(4)-⑤）本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、国に対して要望を実施	◎	◎ (4)		

施策内容	③出前講座等による市民・事業者への啓発活動	＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞
------	-----------------------	-------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 生涯学習まちづくり出前講座を活用したごみ減量化・資源化等に関する講座、見学会等の実施	●（再掲(6)-②）生涯学習まちづくり出前講座の設定 ・「ごみの減量とリサイクル講座」実施回数：0回 ※希望者なしのため実績なし （令和5年度：0回 ※希望者なしのため実績なし） ・クリーンセンター見学会実施回数：10回 （参加人数：小学校10校、762人） （令和5年度：12回（小学校12校、895人）	◎	◎ (4)
2) 小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施	●（再掲(6)-②）小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 ・授業の実施回数：4回 ・参加人数：旭小学校4学年1クラス 計23人 - 大日小学校4学年3クラス 計84人 （令和5年度：3回、大日小学校4学年3クラス 計87人）	◎	

(13) 計画達成のための具体的施策等の実践（計画書 P64）

施策内容	①ごみ削減アイデア、実践事例を市民・事業者から広く募集し、応募者との意見交換等の交流をととして情報の共有を行い、実践事例等を市HPや産業まつり時に紹介	＜廃棄物対策課＞
------	---	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ削減の実践動画を市HP等に公開	●（再掲(2)-①）生ごみの堆肥化方法を市公式YouTubeで紹介 ●衣類のリユース・リサイクルについて、市民団体と意見交換を実施	◎	◎ (4)
2) 食品ロス削減のための「食材使いきりレシピ」の募集及び応募作品の公開	●（再掲(2)-①）市HP等に「食材使いきりレシピ」の紹介及び募集記事を掲載 ・レシピ紹介数：21件（令和5年度：19件）	◎	

基本方針 3 適正処理の構築

【3-1 収集・運搬の検討】

(14) 状況の変化に対応した収集・運搬の検討（計画書 P65）

施策内容 ①家庭系ごみ処理手数料制度導入時の戸別収集の検討		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 戸別収集を実施している自治体を参考に、課題や問題点等について調査研究を行う	●他市の事例を参考に、導入する際の問題点等について調査・検討を実施	□	□ (1)

施策内容 ②粗大ごみの処理券の導入の検討		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 粗大ごみ処理手数料を「納付書方式」から事前に処理券を購入する「シール券方式」に変更	●「シール券方式」により、粗大ごみ処理手数料を徴収（令和5年度：「シール券方式」による粗大ごみ処理手数料の徴収を開始）	◎	◎ (4)

施策内容 ③プラスチック・ビニール類の一括回収		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) プラスチック・ビニール類の一括回収の実施検討	●（再掲(3)-①）「不燃ごみ」として収集していた製品プラスチックの一部を「プラスチック・ビニール類」として収集を開始（令和5年度：「不燃ごみ」として収集していた製品プラスチックの一部を「プラスチック・ビニール類」として収集することを決定）	◎	◎ (4)

(15) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P65）

施策内容 ①低公害型車両の導入誘導		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 収集業者に対する低公害型車両導入の要請	●収集業者に対して低公害型車両の導入を要請・マイルドハイブリッド車両：4台（全車両28台）（令和5年度：4台）	◎	◎ (4)

【3－2 中間処理施設の整備】

(16)新ごみ処理施設の整備の検討（計画書 P65）

施策内容	①循環型社会推進のためのごみ処理システム決定	＜廃棄物対策課＞
------	------------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法については、概算事業費やそれに伴う財政負担、実現可能性等を総合評価した結果、八街市とのごみ処理の広域化とすることとした。 《今後の対応》ごみ処理の広域化について、八街市と協議し、ごみ処理システムを再構築 （令和5年度：ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会への説明を行い、一定の理解を得る）	△	△ (2)

施策内容	②次期ごみ処理施設の基本計画策定	＜廃棄物対策課＞
------	------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●（再掲(16)-①）ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法については、概算事業費やそれに伴う財政負担、実現可能性等を総合評価した結果、八街市とのごみ処理の広域化とすることとした。 《今後の対応》ごみ処理の広域化について、八街市と協議し、ごみ処理システムを再構築 （令和5年度：ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会への説明を行い、一定の理解を得る）	△	△ (2)

(17)エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備（計画書 P65）

施策内容	①エネルギー回収型廃棄物処理施設（次期ごみ処理施設）の整備	＜廃棄物対策課＞
------	-------------------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●（再掲(16)-①）ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法については、概算事業費やそれに伴う財政負担、実現可能性等を総合評価した結果、八街市とのごみ処理の広域化とすることとした。 《今後の対応》ごみ処理の広域化について、八街市と協議し、ごみ処理システムを再構築 （令和5年度：ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会への説明を行い、一定の理解を得る）	△	△ (2)

施策内容	②生活環境影響調査、発注仕様書作成等エネルギー回収施設整備に係る事業の実施	＜廃棄物対策課＞
------	---------------------------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法を検討	●（再掲(16)-①）ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法については、概算事業費やそれに伴う財政負担、実現可能性等を総合評価した結果、八街市とのごみ処理の広域化とすることとした 《今後の対応》ごみ処理の広域化について、八街市と協議し、ごみ処理システムを再構築 （令和5年度：ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会への説明を行い、一定の理解を得る）	△	△ (2)

(18) マテリアルリサイクル推進施設の整備

施策内容	①マテリアルリサイクル推進施設（破碎、圧縮、選別、梱包施設、再生、保管、展示等リサイクル推進に資する施設）の整備	＜廃棄物対策課＞
------	--	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法を検討	●（再掲(16)-①）ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法については、概算事業費やそれに伴う財政負担、実現可能性等を総合評価した結果、八街市とのごみ処理の広域化とすることとした 《今後の対応》ごみ処理の広域化について、八街市と協議し、ごみ処理システムを再構築 （令和5年度：ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会への説明を行い、一定の理解を得る）	△	△ (2)

【3－3 最終処分の検討】

(19)最終処分量の減量化の検討（計画書 P65）

施策内容		①焼却残渣の取扱いについて検討		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1) 焼却灰の有効利用	●焼却残渣の一部を再資源化 ・再資源化量：99.04 t （令和5年度：焼却残渣を再資源化（路盤材など）している事業者と契約を締結し、焼却残渣の一部を再資源化） ※再資源化量：288.55 t	◎	◎	(4)	

(20)最終処分方法の検討（計画書 P65）

施策内容		①災害廃棄物の最終処分対応について検討		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
四街道市災害廃棄物処理計画（平成29年度策定）に基づく対応方法の検討	●協定締結事業者と協定内容の確認を実施 （令和5年度：市内に事業所を有する民間事業者と災害時における協力体制に関する協定を締結（令和5年2月））	◎	◎	(4)	

【3－4 適正な事業経営の推進】

(21)ストックマネジメント体制の整備

施策内容		①ストックマネジメント体制の整備		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●（再掲(16)－①）ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法については、概算事業費やそれに伴う財政負担、実現可能性等を総合評価した結果、八街市とのごみ処理の広域化とすることとした 《今後の対応》ごみ処理の広域化について、八街市と協議し、ごみ処理システムを再構築 （令和5年度：ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会への説明を行い、一定の理解を得る）	△	△	(2)	

第3章 施策の実施状況について（生活排水処理基本計画）

基本方針1 生活排水処理の推進

【1-1 公共下水道の普及】

(1) 経済的助成制度（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域での早期接続を誘導するため、「四街道市水洗便所改造資金助成条例」の周知を働きかける	<下水道課>	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 水洗便所改造資金の助成の実施	●0件（対象者なし） （令和5年度：0件（対象者なし）） ※当該補助金は市が行う下水道の新規整備に伴い生じるもので、対象者がいた場合のみ個別に通知を実施	◎	◎ (4)

(2) 水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動をとおりて呼びかける	<下水道課>	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動の実施	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載 ●市産業まつりで啓発活動を実施	◎	◎ (4)

【1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及】

(3) 経済的助成制度の周知（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域外での高度処理型合併処理浄化槽への転換設置を誘導するため、「四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱」に基づき、転換設置者に対して経済的助成制度の活用を働きかける	<環境政策課>	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 対象世帯に対して補助金を交付	●交付件数：2件 （令和5年度：4件）	◎	◎ (4)

(4)水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①高度処理型合併処理浄化槽の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを 啓発活動をととして呼びかける	<環境政策課>
------	---	---------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 啓発活動の実施	●市ＨＰや市政だよりに掲載 ●啓発リーフレットの配布及びポスターの掲示	◎	◎ (4)
2) 宅地開発業者に高度 処理型合併処理浄化 槽の設置を指導	●開発行為事前協議の際、宅地開発業者に対して高度処理型合併処理 浄化槽の設置を住民などに呼びかけるように協力を要請 ・要請件数：13 件（令和５年度：６件）	◎	

基本方針 2 市民・事業者・行政の協働

【2-1 市民の取組】

(5) 循環型社会のライフスタイルへの転換（計画書 P88）

施策内容	①大量消費、大量廃棄の生活スタイルから資源を大切にし、資源の循環に配慮した消費活動やライフスタイルへ転換し、水環境の保全に努める	＜環境政策課＞
------	--	---------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 家庭における浄化槽の適切な維持管理を周知	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載	◎	◎ (4)

施策内容	②家庭でできる身近な生活排水を実践し、環境負荷軽減に努める	＜環境政策課＞
------	-------------------------------	---------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 簡単に実践可能な生活排水対策を市HPにおいて紹介	●市HPに生活排水対策が記載された市の環境白書を掲載	◎	◎ (4)

施策内容	③水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力	＜環境政策課＞
------	----------------------------	---------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市内各地域で行われる河川清掃等の環境美化活動への協力	●四街道自然同好会による山梨ほたるの里（ホタル自生地）の清掃活動を年2回実施 ・市民参加人数：33人（令和5年度：30人） ●上手繰川清掃活動（10月23日実施）への協力 ・市民参加人数：19人（令和5年度：15人）	◎	◎ (4)

(6)生活排水対策の実施（計画書 P88）

施策内容	①公共下水道供用開始区域については下水道への早期接続、区域外については高度処理型合併処理浄化槽の設置等、生活排水対策に ＜環境政策課、下水道課＞ 努める
------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 合併処理浄化槽の設置や浄化槽の適切な維持管理について、チラシ等を活用した広報活動の実施	●チラシ等の配布、市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載	◎	◎ (4)
2) 市政だよりや市産業まつりで啓発活動を実施	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載 ●市産業まつりで啓発活動を実施	◎	

【2－2 事業者の取組】

(7)自己処理の原則に基づく適正処理（計画書 P88）

施策内容	①自己処理の原則に基づく、適正な排水処理及び環境負荷の低減 ＜環境政策課＞
------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 市内（公共下水道供用開始区域外）に事業所の建設を予定している事業者に対し、雑排水等の処理には高度処理型合併処理浄化槽を用いるよう協力を要請	●開発行為事前協議の際に、開発業者に対して高度処理型合併処理浄化槽を設置するよう協力を要請 ・要請件数：1件（令和5年度：4件）	◎	◎ (4)

(8)環境保全・資源保全意識の向上（計画書 P88）

施策内容	①事業者として環境保全意識及び資源保全意識の向上	＜環境政策課＞
------	--------------------------	---------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 市内（公共下水道供用開始区域外）で使用済自動車の解体業を行う予定の事業者に対し、汚濁物質削減への協力を要請	●使用済自動車の解体業の許可申請の際に、千葉県を通じて、事業者に対して施設内設備の適正な維持管理を行い、水質汚濁の原因となる物質を抑制するよう協力を要請 ・要請件数：8 件（令和 5 年度：10 件） ●特定再生資源屋外保管業の許可申請の際に、千葉県を通じて、事業者に対して施設内設備の適正な維持管理を行い、水質汚濁の原因となる物質を抑制するよう協力を要請 ・要請件数：28 件	◎	◎ (4)

施策内容	②水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力	＜環境政策課＞
------	----------------------------	---------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 市内各地域で、事業者による河川清掃等の環境美化活動を実施	●市内事業者による環境美化活動の実施 ・事業者数：3 者 （令和 5 年度：2 者）	◎	◎ (4)

【2－3 行政の取組】

(9)本計画での基本理念及び基本方針の周知（計画書 P88）

施策内容	①生活排水処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者に周知と行政の積極的行動	＜環境政策課、廃棄物対策課＞
------	---------------------------------------	----------------

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 基本理念及び基本方針を市政だよりや市 H P において周知	●市 H P に四街道市一般廃棄物処理基本計画を公表 ●市 H P に四街道市一般廃棄物処理基本計画令和 5 年度年次報告書を公表	◎	◎ (4)

施策内容	②環境保全、生活排水処理に関する情報の提供	＜環境政策課＞	
------	-----------------------	---------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 市ＨＰにおいて市の環境（生活排水を含む）に関する情報を提供	●（再掲(5)－②）市ＨＰに生活排水対策が記載された市の環境白書を掲載	◎	◎ (4)

(10) 計画達成のための施策等の決定（計画書 P88）

施策内容	①各種施策の実施計画の策定及び予算の確保	＜環境政策課、廃棄物対策課＞	
------	----------------------	----------------	--

具体的な取組	実施状況	個別 評価	総合 評価
1) 生活排水処理実施計画の策定	●市ＨＰに生活排水処理実施計画を公表	◎	◎ (4)
2) 四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金の予算確保を実施	●（再掲(3)－①）交付件数：１件 （令和５年度：４件）	◎	

基本方針 3 適正維持管理の推進

【3－1 適正な収集・運搬体制の維持】

(11) 状況変化に対応した適正な収集・運搬体制の維持（計画書 P89）

施策内容	①し尿及び浄化槽汚泥の収集量の変化に対応した、適正な収集・運搬体制を維持	<環境政策課>
------	--------------------------------------	---------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市内で発生するし尿量及び浄化槽汚泥量と収集・運搬業者の収集能力を比較検討し、適正な体制を維持	●令和5年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、汚泥発生量と収集量を比較検討し、現状の体制が適正であると判断 ※許可の更新は2年に1回	◎	◎ (4)

(12) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P89）

施策内容	①環境と安全に配慮した収集・運搬効率の向上	<環境政策課>
------	-----------------------	---------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 許可業者の作業計画を分析し、収集・運搬効率を最適化	●令和5年度末の浄化槽清掃作業等の許可更新時に、事業者の作業計画は問題ないものであると判断。また、収集車の更新時には環境に配慮した低公害車両の導入を検討するよう依頼 ※許可更新は2年に1回	◎	◎ (4)

【3－2 中間処理施設の適正管理】

(13) 浄化槽の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①法的に義務付けられている設置者の責務等について周知及び浄化槽の適正な維持管理の推進	<環境政策課>
------	--	---------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市HP等において、法令により定められている浄化槽の検査や清掃について広報を実施	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載	◎	◎ (4)

(14) し尿・浄化槽汚泥の中間処理施設の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①汚泥再生処理センターの適正な維持管理及び機能の保全	＜環境政策課、印旛衛生施設管理組合＞
------	----------------------------	--------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 汚泥を活用した肥料を市民農園等に配布し、再生汚泥の循環を実施	●印旛衛生施設管理組合で、汚泥を活用した再生肥料を配布 ・四街道市民に配布した再生肥料の量：59.70 t （令和5年度：55.11 t） ※うち、市民農園で配布した再生肥料の量：1.87 t （令和5年度：1.98 t）	◎	◎ (4)

施策内容	②受入品質の変化に対応した適正処理 （し尿の減少、浄化槽汚泥の量に適正に対応）	＜環境政策課、印旛衛生施設管理組合＞
------	--	--------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) (14)-①の施策により、肥料の供給先を確保	●印旛衛生施設管理組合で汚泥を活用した再生肥料を配布 ・構成市町村等に配布した再生肥料の量：465.80 t （令和5年度：410.37 t）	◎	◎ (4)

(15) 公共広域下水道施設の適正な維持管理（計画書 P89）

施策内容	①公共広域下水道処理施設の適正な維持管理	＜下水道課、公益財団法人千葉県下水道公社 （印旛流域下水道花見川終末処理場）＞
------	----------------------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 下水道の適正な維持管理についての周知	●施設見学、出張下水道教室、パンフレットの配布等の普及啓発事業を通して下水道の適正な維持管理を周知	◎	◎ (4)

第4章 指標の進捗状況について

指標の進捗状況の評価

●実績と数値目標（ごみ処理基本計画）

項 目	当初計画 最終年度の 実績数値	前計画 中間目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	評価年度の 実績数値	計画期間 最終年度の 数値目標
	H27 年度	R 2 年度	R 6 年度	R 6 年度	R 7 年度
1 人 1 日当たり 総排出量 (生活系ごみ+ 事業系ごみ)	832 g	793 g	757 g	717 g	755 g
1 人 1 日当たり 家庭系ごみ総排出量	554 g	497 g	497 g	481 g	495 g
リサイクル率	23. 4%	26. 4%	23. 6%	21. 8%	23. 9%
最終処分率	9. 9%	9. 3%	9. 2%	8. 5%	9. 2%

※1. 1 人 1 日あたり総排出量、1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量、最終処分率は数値目標を下回ること、リサイクル率は数値目標を上回ることを目指します。

※2. 家庭系ごみとは、生活系ごみの中から資源物（資源物、有害ごみ）を除いたものです。

●実績と数値目標（生活排水処理基本計画）

項 目	当初計画 最終年度の 実績数値	前計画 中間目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	評価年度の 実績数値	計画期間 最終年度の 数値目標
	H27 年度	R 2 年度	R 6 年度	R 6 年度	R 7 年度
公共下水道 接続人口	77, 182 人	79, 351 人	79, 629 人	80, 756 人	79, 699 人
合併処理浄化槽	8, 812 人	10, 590 人	11, 280 人	11, 968 人	11, 452 人
単独処理浄化槽	1, 928 人	1, 846 人	1, 780 人	1, 208 人	1, 763 人
し尿汲み取り人口	3, 519 人	3, 362 人	3, 236 人	2, 443 人	3, 204 人

※公共下水道接続人口、合併処理浄化槽人口は数値目標を上回ること、単独処理浄化槽人口、し尿汲み取り人口は下回ることを目指します。

評価指標	1人1日当たり総排出量（生活系+事業系ごみ）																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 （R2年度）		793g																																					
	最終年度 （R7年度）		755g																																					
実績値	H27年度	832g	R2年度	822g																																				
	H28年度	829g	R3年度	784g																																				
	H29年度	801g	R4年度	765g																																				
	H30年度	794g	R5年度	726g																																				
	R元年度	813g	R6年度	717g																																				
進捗グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (g)</th><th>目標値 (g)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>832</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>829</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>801</td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td>794</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>813</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>822</td><td>793</td></tr><tr><td>R3</td><td>784</td><td>764</td></tr><tr><td>R4</td><td>765</td><td>761</td></tr><tr><td>R5</td><td>726</td><td>759</td></tr><tr><td>R6</td><td>717</td><td>755</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>755</td></tr></tbody></table> —◆— 目標値 —◆— 実績値				年度	実績値 (g)	目標値 (g)	H27	832		H28	829		H29	801		H30	794		R1	813		R2	822	793	R3	784	764	R4	765	761	R5	726	759	R6	717	755	R7		755
年度	実績値 (g)	目標値 (g)																																						
H27	832																																							
H28	829																																							
H29	801																																							
H30	794																																							
R1	813																																							
R2	822	793																																						
R3	784	764																																						
R4	765	761																																						
R5	726	759																																						
R6	717	755																																						
R7		755																																						
評価	◎	実績値は当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。達成した主な要因は、市民のごみ減量意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入などにより生活系ごみ排出量が減少したことによるものです。																																						

評価指標	1人1日当たり家庭系ごみ排出量																																							
数値目標	当初計画中間年度 (R2年度)		497g																																					
	最終年度 (R7年度)		495g																																					
実績値	H27年度	554g	R2年度	564g																																				
	H28年度	552g	R3年度	530g																																				
	H29年度	543g	R4年度	516g																																				
	H30年度	540g	R5年度	491g																																				
	R元年度	551g	R6年度	481g																																				
進捗グラフ	<table><caption>進捗グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (g)</th><th>目標値 (g)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>554</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>552</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>543</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>540</td><td>-</td></tr><tr><td>R1</td><td>551</td><td>-</td></tr><tr><td>R2</td><td>564</td><td>500</td></tr><tr><td>R3</td><td>530</td><td>502</td></tr><tr><td>R4</td><td>516</td><td>500</td></tr><tr><td>R5</td><td>491</td><td>497</td></tr><tr><td>R6</td><td>481</td><td>497</td></tr><tr><td>R7</td><td>-</td><td>495</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (g)	目標値 (g)	H27	554	-	H28	552	-	H29	543	-	H30	540	-	R1	551	-	R2	564	500	R3	530	502	R4	516	500	R5	491	497	R6	481	497	R7	-	495
年度	実績値 (g)	目標値 (g)																																						
H27	554	-																																						
H28	552	-																																						
H29	543	-																																						
H30	540	-																																						
R1	551	-																																						
R2	564	500																																						
R3	530	502																																						
R4	516	500																																						
R5	491	497																																						
R6	481	497																																						
R7	-	495																																						
評価	◎	実績値は当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。達成した主な要因は、市民のごみ減量意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入により、可燃ごみの排出量が減少したことによるものです。																																						

評価指標	リサイクル率																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		26.4%																																					
	最終年度 (R7年度)		23.9%																																					
実績値	H27年度	23.4%	R2年度	21.1%																																				
	H28年度	22.5%	R3年度	21.3%																																				
	H29年度	22.3%	R4年度	21.7%																																				
	H30年度	22.9%	R5年度	22.7%																																				
	R元年度	21.4%	R6年度	21.8%																																				
進捗グラフ	<table><caption>進捗グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>23.4</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>22.5</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>22.3</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>22.9</td><td>-</td></tr><tr><td>R1</td><td>21.4</td><td>-</td></tr><tr><td>R2</td><td>21.1</td><td>26.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>21.3</td><td>22.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>21.7</td><td>23.1</td></tr><tr><td>R5</td><td>22.7</td><td>23.3</td></tr><tr><td>R6</td><td>21.8</td><td>23.6</td></tr><tr><td>R7</td><td>23.9</td><td>23.9</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H27	23.4	-	H28	22.5	-	H29	22.3	-	H30	22.9	-	R1	21.4	-	R2	21.1	26.4	R3	21.3	22.8	R4	21.7	23.1	R5	22.7	23.3	R6	21.8	23.6	R7	23.9	23.9
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																						
H27	23.4	-																																						
H28	22.5	-																																						
H29	22.3	-																																						
H30	22.9	-																																						
R1	21.4	-																																						
R2	21.1	26.4																																						
R3	21.3	22.8																																						
R4	21.7	23.1																																						
R5	22.7	23.3																																						
R6	21.8	23.6																																						
R7	23.9	23.9																																						
評価	☐	実績値は前年度と比較して0.9%減少し、目標値に対して未達成となりました。 達成できなかった主な要因は、回収している資源物が減少していることや、焼却残渣の再資源化量が前年度よりも少なかったことが挙げられます。 目標値の達成に向けて、今後も市民・事業者・行政が一体となり、より一層努力することが必要となります。																																						

評価指標	最終処分率																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		9.3%																																					
	最終年度 (R7年度)		9.2%																																					
実績値	H27年度	9.9%	R2年度	9.6%																																				
	H28年度	9.5%	R3年度	9.1%																																				
	H29年度	9.9%	R4年度	9.0%																																				
	H30年度	9.1%	R5年度	7.9%																																				
	R元年度	9.5%	R6年度	8.5%																																				
進捗グラフ	<table><caption>進捗グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>9.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>9.5</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>9.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>9.1</td><td>-</td></tr><tr><td>R1</td><td>9.5</td><td>-</td></tr><tr><td>R2</td><td>9.6</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R3</td><td>9.1</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R4</td><td>9.0</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>7.9</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R6</td><td>8.5</td><td>9.2</td></tr><tr><td>R7</td><td>-</td><td>9.2</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H27	9.9	-	H28	9.5	-	H29	9.9	-	H30	9.1	-	R1	9.5	-	R2	9.6	9.3	R3	9.1	9.3	R4	9.0	9.3	R5	7.9	9.3	R6	8.5	9.2	R7	-	9.2
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																						
H27	9.9	-																																						
H28	9.5	-																																						
H29	9.9	-																																						
H30	9.1	-																																						
R1	9.5	-																																						
R2	9.6	9.3																																						
R3	9.1	9.3																																						
R4	9.0	9.3																																						
R5	7.9	9.3																																						
R6	8.5	9.2																																						
R7	-	9.2																																						
評価	◎	実績値は当該年度及び計画最終年度の目標値を達成していますが、前年度に比べて0.6%上昇しています。 達成した要因は、市民の分別・リサイクル意識の高まりや、前年度に引き続き、埋立処分をしていた焼却残渣の一部を再資源化したことによるものです。 数値が上昇した要因は、焼却残渣の資源化量が前年度よりも少なかったことが起因しています。																																						

評価指標	公共下水道接続人口			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		79,351人	
	最終年度 (R7年度)		79,699人	
実績値	H27年度	77,182人	R2年度	79,567人
	H28年度	77,402人	R3年度	80,759人
	H29年度	77,781人	R4年度	80,951人
	H30年度	78,334人	R5年度	80,997人
	R元年度	79,282人	R6年度	80,756人
進捗グラフ	実績値は、当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。 主な要因は、公共下水道接続人口区域の増加によるものです。 なお、令和6年度の数値が微減している要因として、公共下水道区域内人口が減少したことが挙げられます。			
評価	◎	実績値は、当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。 主な要因は、公共下水道接続人口区域の増加によるものです。 なお、令和6年度の数値が微減している要因として、公共下水道区域内人口が減少したことが挙げられます。		

評価指標	合併処理浄化槽人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		10,590人																																					
	最終年度 (R7年度)		11,452人																																					
実績値	H27年度	8,812人	R2年度	10,634人																																				
	H28年度	9,277人	R3年度	10,626人																																				
	H29年度	9,529人	R4年度	11,277人																																				
	H30年度	10,015人	R5年度	11,479人																																				
	R元年度	10,308人	R6年度	11,968人																																				
進捗グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>8,812</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>9,277</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>9,529</td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td>10,015</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>10,308</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>10,634</td><td>10,590</td></tr><tr><td>R3</td><td>10,626</td><td>10,763</td></tr><tr><td>R4</td><td>11,277</td><td>10,935</td></tr><tr><td>R5</td><td>11,479</td><td>11,108</td></tr><tr><td>R6</td><td>11,968</td><td>11,280</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>11,452</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H27	8,812		H28	9,277		H29	9,529		H30	10,015		R1	10,308		R2	10,634	10,590	R3	10,626	10,763	R4	11,277	10,935	R5	11,479	11,108	R6	11,968	11,280	R7		11,452
年度	実績値	目標値																																						
H27	8,812																																							
H28	9,277																																							
H29	9,529																																							
H30	10,015																																							
R1	10,308																																							
R2	10,634	10,590																																						
R3	10,626	10,763																																						
R4	11,277	10,935																																						
R5	11,479	11,108																																						
R6	11,968	11,280																																						
R7		11,452																																						
評価	◎	実績値は、当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。 主な要因は、公共下水道未接続区域の人口増加等に伴い、合併処理浄化槽の設置者が増加したことによるものです。																																						

評価指標	単独処理浄化槽人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		1,846人																																					
	最終年度 (R7年度)		1,763人																																					
実績値	H27年度	1,928人	R2年度	1,618人																																				
	H28年度	1,938人	R3年度	1,340人																																				
	H29年度	1,951人	R4年度	1,259人																																				
	H30年度	1,922人	R5年度	1,259人																																				
	R元年度	1,862人	R6年度	1,208人																																				
進捗グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>1,928</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>1,938</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>1,951</td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td>1,922</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>1,862</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>1,618</td><td>1,846</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,340</td><td>1,829</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,259</td><td>1,813</td></tr><tr><td>R5</td><td>1,259</td><td>1,796</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,208</td><td>1,780</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>1,763</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H27	1,928		H28	1,938		H29	1,951		H30	1,922		R1	1,862		R2	1,618	1,846	R3	1,340	1,829	R4	1,259	1,813	R5	1,259	1,796	R6	1,208	1,780	R7		1,763
年度	実績値	目標値																																						
H27	1,928																																							
H28	1,938																																							
H29	1,951																																							
H30	1,922																																							
R1	1,862																																							
R2	1,618	1,846																																						
R3	1,340	1,829																																						
R4	1,259	1,813																																						
R5	1,259	1,796																																						
R6	1,208	1,780																																						
R7		1,763																																						
評価	◎	実績値は、当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。 前年度までは数値に変化がありませんでしたが、今年度は前年度に比べて 51 人減と合併処理浄化槽等への転換が進みました。 今後もより一層、合併処理浄化槽等への転換を促進することが必要となります。																																						

評価指標	し尿汲み取り人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		3,362人																																					
	最終年度 (R7年度)		3,204人																																					
実績値	H27年度	3,519人	R2年度	3,330人																																				
	H28年度	3,515人	R3年度	2,966人																																				
	H29年度	3,645人	R4年度	2,674人																																				
	H30年度	3,466人	R5年度	2,655人																																				
	R元年度	3,393人	R6年度	2,443人																																				
進捗グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td></td><td>3,519</td></tr><tr><td>H28</td><td></td><td>3,515</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>3,645</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>3,466</td></tr><tr><td>R1</td><td></td><td>3,393</td></tr><tr><td>R2</td><td>3,362</td><td>3,330</td></tr><tr><td>R3</td><td>3,330</td><td>2,966</td></tr><tr><td>R4</td><td>3,299</td><td>2,674</td></tr><tr><td>R5</td><td>3,267</td><td>2,655</td></tr><tr><td>R6</td><td>3,236</td><td>2,443</td></tr><tr><td>R7</td><td>3,204</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	目標値	実績値	H27		3,519	H28		3,515	H29		3,645	H30		3,466	R1		3,393	R2	3,362	3,330	R3	3,330	2,966	R4	3,299	2,674	R5	3,267	2,655	R6	3,236	2,443	R7	3,204	
年度	目標値	実績値																																						
H27		3,519																																						
H28		3,515																																						
H29		3,645																																						
H30		3,466																																						
R1		3,393																																						
R2	3,362	3,330																																						
R3	3,330	2,966																																						
R4	3,299	2,674																																						
R5	3,267	2,655																																						
R6	3,236	2,443																																						
R7	3,204																																							
評価	◎	実績値は当該年度及び計画最終年度の目標値を達成しています。推移としては前年度よりも減少しており、合併処理浄化槽等への転換が進んでいます。 今後もより一層合併処理浄化槽等への転換を促進する必要があります。																																						

第5章 まとめ

各種施策の総合評価について、全 60 項目のうち、「◎」が 48 項目、「○」が 5 項目となっており、全体の約 88%で取組が実施できています。

一方で、「△」及び「□」が計 7 項目となっており、そのほとんどがごみ処理の「基本方針 3 適正処理の構築」で掲げられている施策です。その中でも「次期ごみ処理施設整備の検討」については、ごみ処理の広域化について、八街市と協議を行いました。

その他の項目については、市民意識・ニーズの変化、廃棄物の質的多様化など、社会の諸変化に応じて、新たな取組の導入や既存の取組の見直しの検討を行いました。

次に、指標の進捗状況の評価について、全 8 項目のうち、「◎」が 7 項目、「□」が 1 項目となっており、特に「◎」となった項目については既に最終年度の目標値を達成しています。

また、「□」となったりリサイクル率は前年度よりも数値が減少し、目標も未達となっているため、今後も分別の更なる周知・徹底と再資源化に取り組むやすいような環境づくりを行っていく必要があります。

●施策の評価一覧

基本方針		項目数	◎	○	△	□
ごみ処理 基本計画	1. 2 Rを意識した 3 Rの推進	15	11	4	0	0
	2. 市民・事業者・行政の協働	13	12	1	0	0
	3. 適 正 処 理 の 構 築	12	5	0	6	1
生活排水処理 基本計画	1. 生 活 排 水 処 理 の 推 進	4	4	0	0	0
	2. 市民・事業者・行政の協働	10	10	0	0	0
	3. 適 正 維 持 管 理 の 推 進	6	6	0	0	0
合 計		60	48	5	6	1

●数値目標の達成状況

項目	達成状況
1 人 1 日あたり総排出量	◎
1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量	◎
リサイクル率	□
最終処分率	◎
公共下水道接続人口	◎
合併処理浄化槽人口	◎
単独処理浄化槽人口	◎
し尿汲み取り人口	◎

四街道市一般廃棄物処理基本計画
令和6年度 年次報告書

令和7年 月

発行 四街道市環境部廃棄物対策課
千葉県四街道市鹿渡無番地
TEL：043-421-6132
FAX：043-424-2013